

あかしや通信 平成30年11月号

〒089-0552 中川郡幕別町札内あかしや町 42 番地の 10

Tel 0155-55-4165 Fax 0155-55-4166

《11月の行事予定》

日程	行事内容
11月 5日(月)～16日(金)	江陵高校・介護実習生受入
11月 18日(日) 13:00～16:30	博愛会コンテスト(コムコの里みどりヶ丘)
11月 27日(火) 13:30～14:30	あっちこっち紙芝居(2階)
11月 29日(木) 12:30～14:00	お誕生会(11月生まれ)

インフルエンザ予防接種のお知らせ

入所利用者様に 10月よりインフルエンザ予防接種のご案内をさせていただいております。お申込みいただきました利用者様へは、11月中旬より順次インフルエンザ予防接種を予定しております。また、肺炎球菌ワクチンの接種につきましては、インフルエンザ予防接種後の実施となります。

予防接種は効果的な予防策のひとつではありますが、完全なものではありません。予防接種と同時に、日々の手洗いやうがい予防の一番の対策となります。ご面会にお越しの際は、正面玄関から入って右手にある洗面台にて、うがい・手洗いをさせていただきますようご協力をお願いいたします。

なお、流行期に入ると例年ワクチンの入手が困難となります。インフルエンザ予防接種のお申し込みをされていない方で接種を希望される方は、ワクチンの在庫があるまでは受け付けておりますので、どうぞお早めにお申し込みください。



『まくべつ議会だより』で RUN 伴が取り上げられました！

【住民参加企画】
まのこえ
～広報広聴委員が聞く～
～みんなで支える安心な町づくりを～ RUN 伴(ランとも)～

今回は、RUN 伴(ランとも) 十勝エリアの実行委員長で「老人保健施設あかしや」の深谷之さん、協力事業所の一つである『幕別町地域支援ネット・和(わか)』の直江千代さんから話を聞かせていただきました。

Q:「RUN 伴」とは何か？
A:元々は「ラン・トゥ・モロー」から作った言葉です。「明日へ向かって走ろう」といった意味が込められています。これまで認知症の方や寝たきりの方、認知症の方やその家族、医療福祉関係者が一緒になってタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。NPO法人認知症フレンドシップクラブが運営主体で、今年は秋分祭を7月1日に出発し、11月25日に岩手県でゴールする予定です。

Q:「RUN 伴」の活動の目的や夢をお聞かせください。
A: SNS や回覧板等で呼びかけ、7法人の事業所から80名、6チームで参加しました。その他、実際に暮らしている方々も参加し、計150名にのぼりました。認知症は他人事ではなく、自分事。自分自身が認知症になっても安心できる町を、自らつくっていきたくて参加しています。

(聞き手 谷口和弥 小田新紀) 直さん(左)と直江さん(右)

平成 30 年 11 月 1 日発行の「まくべつ議会だより」で、『RUN 伴 2018』の活動を取り上げていただきました。

『RUN 伴』は認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症の人もそうでない人も、みんなでタスキをつないで、日本を縦断するプロジェクトです！

幕別町内のチームの参加は今年で 4 年連続 4 回目でした。なんと！約 150 名の方が参加してタスキを繋いでいきました。幕別町の RUN 伴の取り組みについては以下のホームページでも詳しく掲載されております。どうぞご覧ください。

<http://runতো.org/stories/>



幕別 Care 倶楽部主催 映画『ケアニン』上映会を実施しました！



先月の 10 月 11 日、当施設の作業療法士・江波拓磨が代表を務める「幕別 Care 倶楽部」が主催で、映画『ケアニン』上映会を実施しました。

「幕別 Care 倶楽部」とは、幕別町内の事業所間連携の強化、今後のケアのあり方について共通認識をもてる場所づくりを目的に町内の介護事業所、行政、社協の職員が集まって立ち上げた団体です。

上映会当日は、遅い時間の上映にもかかわらず、介護現場で働く方や自宅で介護をされているご家族、介護に関心のある方など、本当にたくさんの方が足を運んでくださいました。映画『ケアニン』では、一人の新人介護福祉士が認知症の入所者と寄り添い、向かい合いながら成長する姿を通じて、自分らしく老いることの大切さや、人と人とのつながりの意味について優しく描かれていました。

上映中は会場のあちこちですり泣きが聞こえ(私自身も 10 年分は泣いたと思います笑)、上映後はみなさん、スッキリとしたすばらしい笑顔で会場を後にされておりました。

「幕別 Care 倶楽部」は今後も、十勝・幕別町が『いつまでも心して暮らせる』地域になるよう様々な取り組みをしていきます。応援、よろしくお願いいたします。



Makubetu Care Club
まくべつケア
幕別 Care 倶楽部

認知症ケア映画『ケアニン』上映会
【幕別介護・福祉の現場】

「ケアニン」上映会
江波代表は上映に先立ち、一年前を振り返るすべての人たちに「年をとることや病気で悩むこと」といって再認識してもらったことを話していた。

「ケアニン」上映会
江波代表は上映に先立ち、一年前を振り返るすべての人たちに「年をとることや病気で悩むこと」といって再認識してもらったことを話していた。

上映会を通して
介護を学んだ
上映会

場をアツクした映画『ケアニン』の上映会が 11 日、町百年記念ホールで開催された。幕別 Care 倶楽部(江波拓磨代表)が研修会として企画。町内外から約 200 人が参加した。

映画は、新人の介護福祉士が認知症の高齢者の触れ合いから成長していく過程を描いた作品。研修や講演会に合わせた作品として制作して、社会福祉団体や自治体企業などで広く活用されている。

江波代表は上映に先立ち、一年前を振り返るすべての人たちに「年をとることや病気で悩むこと」といって再認識してもらったことを話していた。

上映会を通して
介護を学んだ
上映会

11日に福祉映画上映
幕別 Care 倶楽部 初イベント

幕別 Care 倶楽部は、町内の介護福祉士が連携を築き、高齢者の生活を支えるために活動している。今年度は、町百年記念ホールで開催された。幕別 Care 倶楽部(江波拓磨代表)が研修会として企画。町内外から約 200 人が参加した。

映画は、新人の介護福祉士が認知症の高齢者の触れ合いから成長していく過程を描いた作品。研修や講演会に合わせた作品として制作して、社会福祉団体や自治体企業などで広く活用されている。

江波代表は上映に先立ち、一年前を振り返るすべての人たちに「年をとることや病気で悩むこと」といって再認識してもらったことを話していた。

上映会を通して
介護を学んだ
上映会

～リハビリこぼれ話～

皆さまこんにちは。今月のこぼれ話も寒い冬でも心は熱く、財布は薄い作業療法士の江波がお送りします。さて、朝晩の冷え込みが強くなってまいりました。体調不良や風邪をひかれていませんか？

さて、今回は腰痛についてお話したいと思います。急に腰痛??とお思いでしょうか、気温の差や冷え込みによって筋肉が固くなり、腰や肩の痛みが出る方が多くいます。そういう私も腰痛が・・・

腰痛と聞くと、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの症状というイメージですが、そのような原因のある腰痛は全体の 30%だと言われています。残りの 70%は筋肉や靭帯、ストレス等による原因の特定できない腰痛であると言われています。

原因が特定できない腰痛に対しては、腰や太もも後面のストレッチ、冷やさないように温めること、気分転換やリフレッシュすることに効果があると言われています。

ということで、腰痛改善を言い訳に、温泉に入り楽しい話を、心も体もリフレッシュしたいですね。